

## 新青丸（船名）研究航海報告

- \* 航海番号 KS-21-23次研究航海
- \* 航海名称 (和文) 福島周辺の海水、海底境界層における放射性核種の動態と生物  
利用性  
(英文) Dynamics and bioavailability of radionuclides in the  
waters off Fukushima
- \* 観測海域 (和文) 常磐沖  
(英文) Off Joban
- \* 航海期間 令和3年10月7日(木)～令和3年 10月17日(日)
- \* 出港日時・場所 10月7日 14時 横須賀港
- \* 入港日時・場所 10月17日 10時 石巻港
- \* 寄港期間・場所 無し
- \* 研究課題 福島周辺の海水、海底境界層における放射性核種の動態と生物利  
用性
- \* 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mailアドレス ◎は@)  
高田 兵衛・福島大学環境放射能研究所・特任准教授・h.takata@ier.fukushima-u.ac.jp
- \* 研究内容, 主調査者(e-mailアドレス), 観測項目
  1. 沿岸域における溶存態放射性核種の供給フラックスの観測  
乙坂 重嘉(otosaka@g.ecc.u-tokyo.ac.jp): 海底堆積物及び懸濁粒子中の放射性核種分布  
青野 辰雄(aono.tatsuo@qst.go.jp): 海水中の溶存放射性セシウム分布  
Ken O. Buesseler(kbuesseler@whoi.edu): 海水中の溶存放射性核種の経時変化
  2. 沿岸域における懸濁態放射性核種の輸送経路の把握  
高田 兵衛(h.takata@ier.fukushima-u.ac.jp): 懸濁態放射性核種分析  
御園生 敏治(misono.toshiharu@jaea.go.jp): 海底堆積物特性解析
  3. 粒子態放射性セシウムの詳細分析  
三浦 輝(hi-miura@criepi.denken.or.jp): 高線量粒子の分布特性
  4. 福島第一原発施設近傍における放射性核種の生物利用性の把握  
西川 淳(jun\_nishikawa@tokai-u.jp): プランクトン、マイクロネクトン、及び魚類等ネク  
トン中の放射性核種濃度分布

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

高田 兵衛・福島大学・特任准教授

乙坂 重嘉・東京大学大気海洋研究所・准教授

西川 淳・東海大学海洋学部・教授

青野 辰雄・量子科学技術研究開発機構・チームリーダー

御園生 敏治・日本原子力研究開発機構・廃炉環境国際共同研究センター・研究員

渡辺 勇輔・日本原子力研究開発機構・廃炉環境国際共同研究センター・研究員

森 愛理・日本原子力研究開発機構・廃炉環境国際共同研究センター・研究員

三浦 輝・電力中央研究所 環境科学研究所・研究員

戸田 亮二・東京大学大気海洋研究所・技術職員

剣持 瑛行・東海大学大学院海洋学研究科・大学院生

石倉 明依・東海大学大学院海洋学研究科・大学院生

山田 萌々加・東海大学大学院海洋学研究科・学部学生

横川 真一郎・マリンワークジャパン・観測技術員

\* 航跡・測点図

